

# 男女共同参画推進出前講座 (教室) を行っています!!

南国市では、本年度より新しい取り組みとして、市内の事業所において出前講座を実施しています。また、今後3年計画で、市内17の小中学校で出前教室を実施し、南国市男女共同参画推進計画広報版リーフレット(注)を使って啓発活動を行っていきます。

本年度の講座(教室)の様子をいくつか紹介します。このほか、昨年10月に北陵中学校、11月に香長中学校、12月に鷺ヶ池中学校で出前教室を実施しました。2月には長岡小学校でも実施する予定です。



平成25年6月3日 グッドラックカンパニー(株) 受講者感想より  
「自分自身のことを少し理解できた気がした」  
「企業のトップへの講習も必要」



平成25年7月8日 香南中学校 生徒感想より  
「今までの常識にとらわれたいしないようにしようと思った」  
「『なぜ・どうして』と疑問を持って考えることが大切ということが心に残った」



平成25年10月7日 十市小学校 児童感想より  
「これは女がやる、男がやる、と決めていては、新しい未来が築けないので個性は大事!」  
「みんな違う意見を持っているので、自分の意見だけでなく、ほかの人の意見をきちんと聞くことが大切だということを学びました」

※お問い合わせは  
生涯学習課生涯学習人権係  
(0880・6569)まで

南国市男女共同参画推進計画広報リーフレットの内容は、ホームページでご覧いただけます。トップページから「分類で探す」↓「人権」↓「男女共同参画社会を目指して」をクリックしてください。

注 「南国市男女共同参画推進計画(平成24年3月策定)」の広報を目的に、平成25年2月に作成。

出前講座をご要望の事業者の方は、生涯学習課生涯学習人権係までお問い合わせください!



## 男女共同参画 シリーズ

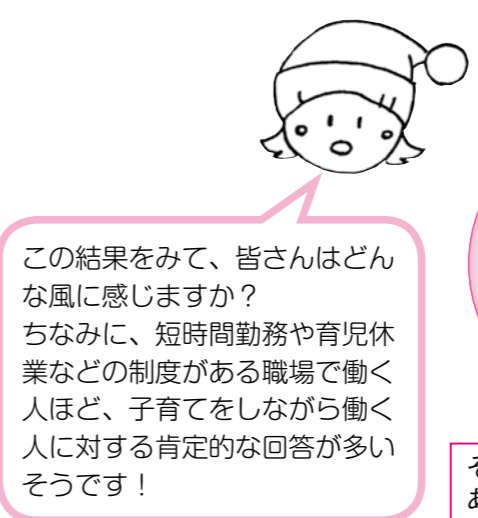


日本は 子育てにくい 社会なの!?

昨年6月5日、高知新聞に取り上げられた働く男女全国調査をご存じでしょうか。高知大学教育学部の森田美佐准教授が全国の働く男女千人を対象に行った調査ですが、この中で子育てをしながら社会で働く人にとっては少し厳しい結果が出ているようです。

南国市では、1月に開催した男女共同参画推進講座において、第3講座「生活者の視点から見たワーク・ライフ・バランス」の講師として、森田准教授にお話をいただきました。

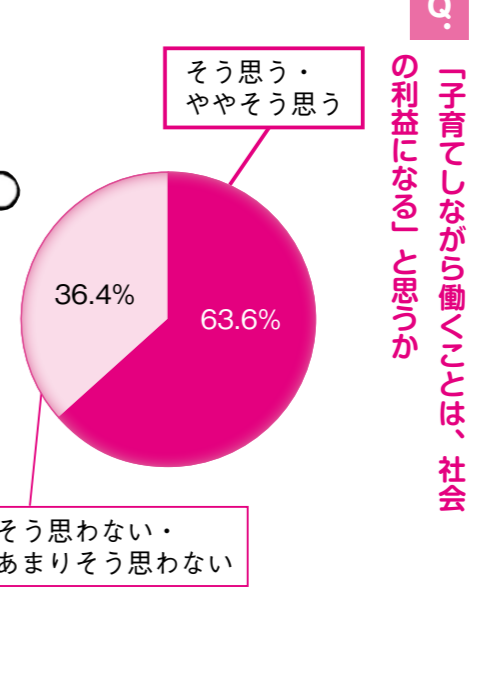
森田准教授は、「少子化が社会問題とされている中で、子育てをしながら働く人に対する否定的な考えを持っている同僚が、一定の割合で存在していることは軽視できなく」と指摘しています。



「子育て中の社員は、同じ職場の人『ちょっと迷惑だ』と思うか」  
およそ6人に1人が「そう思う・ややそう思う」と回答しています。

「子育てしながら働く人たちは、将来の社会を担う子供を育てること、仕事をして社会の役に立つことで、社会に大きな貢献をしている」と考えている人が、これだけいるということですね!

子育てしながら働く人たちを、**もっとおおらかに、もっとあたたかく**受け入れ、応援できる社会にするために、制度面の整備だけでなく、働く全ての人が働き方や生活そのものを振り返る必要があるのではないのでしょうか?



「子育てしながら働く人とは、社会の利益になる」と思うか  
「ただ、こんな結果も出ています!」

資料提供/高知大学教育学部 森田美佐 准教授